

水沢利栄（教育地域科学部芸術・保健体育教育講座）の活動

2011年3月11日～

■背景

東日本大震災に際して、水沢利栄は、宮城県栗原市にあるくりこま高原自然学校の校長佐々木豊志氏の行っている活動を支援した。

佐々木豊志氏は、地震発生直後より、被災者の支援、被災地の復興にあたるために宮城県登米市の旧鱒淵小学校を市より借り受け、市民災害救援センター・RQ宮城県登米現地本部の責任者として活動していた。その活動の様子は佐々木氏が彼自身のブログ（http://blog.canpan.info/master_kkns/monthly/201103/1）で毎日のように更新・発信し、南三陸町および気仙沼市周辺の被害状況およびボランティアの活動、受け入れ状況について紹介していた。そのブログを見ていた水沢が下記のような支援活動を実施した。

2011年3月30日

■支援物資（調理用食器類と食料）の送付

佐々木豊志氏の登米市災害救援センター宛てに下記の品を送付した。

- ①水沢が独自に開発したおにぎりを簡単に且つ衛生的に作れ携帯にも便利な「おにぎり革命」を200個を宅配便にて送付（佐々木豊志氏のブログでは4月21日に紹介）。
- ②レトルトカレー100食分、カップ麺100食分、スプーン150本、食器洗浄用の柄付きスポンジ等を送付。

■タイガー魔法瓶株式会社へ支援要請

登米市災害救援センターの活動を支援するためにタイガー魔法瓶株式会社（大阪府守口市）に暖かい飲物とご飯を提供するための容器として350mlのマグボトルを125個、安価に提供してほしい旨の要請を行い快諾された（製品の代金は水沢が負担）。

2011年4月25日～27日

■現地で被災者とボランティアに食事提供

2011年4月25日、26日、27日、福井から、ガソリン携行缶、釘等の工具、および食料および「おにぎり革命」（おにぎりを簡単に作る容器）を100食分自家用車に搭載し登米市災害救援センターに送り届ける。

■温かいカレーライスを食べるためのマグボトルの利用方法を指導

タイガー魔法瓶のマグボトル（350ml）をカレーライスを食べる食器として利用する方法を指導した。マグボトルに温かいご飯とカレーのルーを垂直方向の空間に半分ずつ入れて食べる方法を講習した。熱々のご飯とカレーをマグボトルに入れることで、5時間以上温かい状態で保つことができ、温かいカレーライスを食べることができること、携行しやすく、食中毒の危険も軽減することができることなどを紹介し、活動に活かすことを利用方法を提案した。

■ 水沢が開発した簡単ににぎり寿司を作ることができる「にぎらー」100個とにぎり寿司用の食材を持参し、被災者および支援ボランティアに対して、にぎり寿司を提供。また、にぎり寿司を作る方法について指導を行った。被災者らから「こんなところでにぎり寿司が食べられるとは思わなかった。」「美味しくて元気が出た」等、感謝の言葉をもらう。
(http://blog.canpan.info/master_kkns/monthly/201104/1) (4月25日)

■ 2012年4月3日

くりこま高原自然学校では、多くの犠牲者が出た大川小・中学校で生き残った児童・生徒をキャンプで受け入れている。その生徒らが「にぎらー」を使ってにぎり寿司を作って食べた。楽しくて美味しいとの感想が佐々木豊志氏の facebook (<https://www.facebook.com/toyoshi.sasaki>) で紹介された。



宮城県登米市 RQ 災害救援センター



「にぎらー」の使用方法を説明する水沢



にぎり寿司を作って食べる被災者たち



マグボトルのカレーを食べる佐々木豊志氏



にぎり寿司を簡単に作れる「にぎらー」



南三陸町の被害状況を調査する水沢